

LA Made Brand 01 ワイズ・ウォッチ メイドイン・LAだから 技術とデザインの融合が実現!



STEP 06 組み立て

ムーブメントからダイヤル、ケースまで全パーツが集まり、キャメロン自らの手によって、腕時計1つあたり約40時間をかけて組み上げられていく。非常に繊細な作業のため、ホコリが入らないよう細心の注意が払われる



STEP 07 精度チェック

組み立ての作業と平行して行われるのが精度チェック。写真上や左上の機械でムーブメントの音を測定しながら微調整を繰り返す。完成してからもさらに一定時間、重力の耐久テストを行い、確かな精度へ仕上げられていく!



このクルマで
出店するよ!



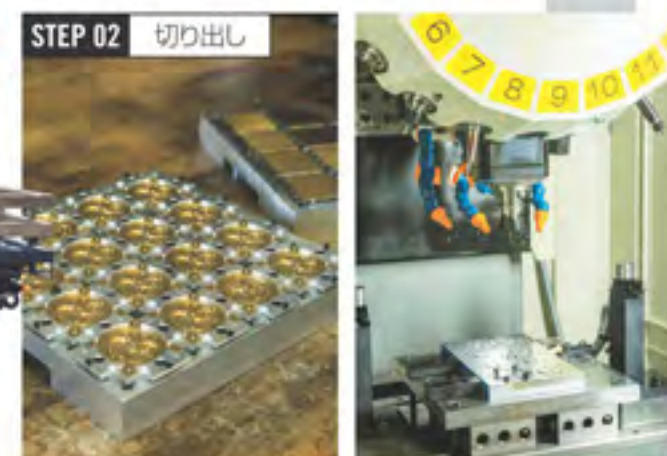
STEP 04 加工・研磨

パーツができたら、熱加工や研磨、クリーニングで仕上げ。すべて手作業で行われる。生粋のメカ好きのキャメロンは、クルマいじりが趣味。ロゴを施したカスタムのヴィンテージトラックでポップアップを出店することもあるとか!



STEP 01 デザイン

腕時計のデザインにおいて要となるのは、ケースのシェイプと素材。デザイン画から3Dソフトウェアでパーツの設計図を起こし、プロトタイプを作りながら調整を繰り返す。ダイヤルも含めた腕時計全体のデザインを進めていく



STEP 02 切り出し

各パーツは5cm角ほどの小さな金属板から、21種類ものドリルを自在に使い分け、完全自動制御されたマシンで切り出される。極めて緻密な作業のため、業界最高水準のマシンでも16個のパーツを切り出すのにおよそ8時間かかるそう!



STEP 05 検査

完成したパーツをコンピューター制御された顕微鏡で厳しく品質チェックしていく。細かいパーツはこのようにガラスケースの中に入れて顕微鏡へ。超高性能なマシンで切り出されているので、誤差はまず出ない



STEP 03 削り出し

ゼンマイなどに使われる微細なネジは、金属棒を回転させながら機械で精密に削って完成させる。数mmのネジを作るのに、数m級の巨大なマシンを使用。削り出されたネジは錆びないようにオイルに漬けて保管する



スイス製パーツを手作業で組み立てたレトロ顔の1本!

9時位置にスモールセコンドを配置。シンプルで落ち着いたデザインの中に、少しクラシカルな雰囲気が漂う定番モデル「スタンダード イシュー」。核となるムーブメントはスイス製、組み立てはLAの工房でハンドメイド。ケース径42mm、手巻き、SSケース、キャンパスストラップ。12万円(ワイズ・ウォッチ / Safari Lounge)

生

粋のカリフォルニア少年だったと、本場スイスで磨いた時計作りの技術を持ち帰り、USメイトの時計を復活させようとして(ワイズ・ウォッチ)を立ち上げたのは2013年。ムーブメントから組み立てまでをLAで完成させるという挑戦を成し遂げ、今では業界を牽引する存在だ。「LAはメカニクス天国」だと語るキャメロン。LAは古くから航空機や自動車産業で発展し、ワイズが工房を構えるトランス近郊には宇宙産業の工場もある。工場の機械に問題が出たら、異業種のエンジニアに相談することも多いとか。それでももちろん、LAはファッションの街でもある。LAが誇るデザイナーたちからのインスピレーションが高度な生産技術と融合する。こんな夢のコラボが実現するのは世界広しといえど、LAだけ!



作り手のこだわりが強く感じられるブランドが増えている!?

“LA職人魂”が見直されている理由!

意外に思うかもしれないが、LAらしいブランドイメージ=LAメイドという方程式は必ずしも結びつかない。コストや効率を考えると州外や国外で生産するブランドも多い中、最近注目を集めているのがLAを拠点に、作り手のこだわりを大切に守るブランド。“職人魂”を感じられるプロダクトが今なぜ見直されているのか。生産の現場を訪ねてみた。

写真=内藤真依子、正重智生、飯富崇生 スタイルング=Kim-Chang コーディネート&文=錦戸由貴子、飯富崇生 photo: Maiko Naito (Seven Bros.), Tomoo Syoju (BOIL), Tak litomi styling: Kim-Chang coordinate&text: Yukiko Nishikido (NIKITA), Tak litomi



1: デザインチームが置かれる建物には、なんとサンプル製作専用の工場がある 2: 横いびいに染られた色とりどりの糸 3: デザイナーのオフィスには、サイモンのウイメンズコレクションが所狭しと並び



4: デニムのウエスト部分は1本ずつ生地で輪を作るように本体に縫い付け、端を手作業で折りこんでからステッチで閉じる。この工夫でクリーンな仕上がりに 5: 機械を使うと生地が伸びて正確に裁断できないため、手作業で広げるのも特徴



03 <シチズンズ・オブ・ヒューマニティ> ブランドの哲学を 世界へ発信するデニム!

プレミアムデニムブームの代表的ブランドとして瞬く間に世界中から熱い支持を集めた「シチズンズ・オブ・ヒューマニティ」。現在ではほぼすべての生産工程を自社工場で行う、全米でも稀なデニムブランドとして名を馳せる。ところが、設立当初は生産を複数の業者に外注しており、苦勞が絶えなかったという。同ブランドが完全インハウスによるLAメイトに踏み切った理由は単純明快だ。工場を構えるのは、服飾産業が長く根づいていたDTLA。15分圏内に3つの施設があり、デザイナーのオフィスと縫製工場は道を挟んで向かい合う。「生産チームといつても話がでるから、新しいアイデアもすぐに試せる刺激的な環境」と語るのは、クリエイティブ・ディレクターのサイモン・ミラー。名だたるデニムブランドのディレクターを歴任してきたサイモンも認める、「アメリカ屈指の技術を誇るジーンズ工場」は、効率化と品質強化を両立するうえで欠かせない存在。ローカルのモノ作りにこだわり、環境に優しい生産技術を常に追求している。

この工場の質は全米有数だ!

下: 広大なスペースに整然とマシンが並び、圧巻の光景! パーツや作業ごとに専用のマシンが割り当てられているので、クオリティのブレを少なくできる 左: ディレクターのサイモン・ミラー。生産スタッフとコミュニケーションをとりながら、ステッチや技術の研究にも余念がない



計算された独特の加工感は芸術の域!?
カイハラデニムの中で最もヴィンテージ感のある生地を使用。精緻なレーザーでヒゲや擦れたデザインを調整し、職人のハンド加工で仕上げる。こだわりの1本。4万円 (シチズンズ・オブ・ヒューマニティ / Safari Lounge)



長く使うほど味わいが増すから渋い大人にぴったり!
A: スウェード製の柔らかいポーチ型ウォレット。くったりとした表情が魅力。3万円 B: 定番のフラワーモチーフを施したスタッズベルト。ターコイズ入りで、これぞクラフトな仕上がりに。5万4000円 C: ピラミッドスタッズベルトはやや長めのサイズを選び、先を垂らすスタイルがおすすめ。5万円 D: ベルトに通せる定番デザインのキーリング。こちらもさりげなくターコイズ入り。1万3000円 (以上HTC / スタンダード カリフォルニア)



02 <HTC> ヴィンテージが根づく LAで“職人魂”を追求!

LAのヴィンテージ界で知らぬものはない、ジップ・ステイブソンが手掛ける「HTC」。バイヤーとして成功を収めたジップが、ヴィンテージベルトのカスタムをはじめたことが、このブランドの起源。商品展開を拡大する今も「LAメイト」にこだわり続けている。ヴィンテージの宝庫として有名な西海岸とはいえ、伝統的な革製品作りの歴史があるわけではない。しかしLAのような大都市には軍や警察などにユニフォームを納入する工場があり、実はたくさん職人がいる。そこに目をつけたジップは、職人たちのネットワークを築きながら、独自の生産体制を作り上げていった。州外や海外の低コストな工場では大量生産が基本。その点、LAメイトだと生産コストは上がるが、ロットを最小限にコントロールできるというメリットがある。品質の高さは言わずもがなだし、日々たくさんのヴィンテージを手にとりて感じられる環境はなにも代えがたいのだ。

下右: デニムやレザーアイテムのリペア専門店「デニム・ドクターズ」のオーナーでもあるジップ・ステイブソン。彼の見せる、職人としての顔も渋い! 下左: 工房にスラリと並びスタッズベルト。商品に使用する革は、タフな表情が特徴のラフィーゴレザー。すべてカリフォルニア産というこだわりぶり



1: LA市内にふたつの工房を構え、こちらはベルトや革小物に特化。少人数で丁寧なモノ作りを実現している 2: 裁断、縫製からスタッズ打ちまで、すべて手作業。機械では出せないわずかなバラつきこそが“味” 3, 4: 新品のスタッズをアンティーク加工して使うのもユニーク。多いものでベルト1本に400個のスタッズが! 機械生産では革がゆがんでしまうとか 5: ブラックレザーは昔ながらのバイカーブーツに採用されていた“茶芯”と呼ばれる製法を採用。茶の革の表面を黒く塗ることで作られている。使いこむほどに地の色が現れ、風合いが増すのも楽しみのひとつ?



すべて手作業で少数精鋭が信条!



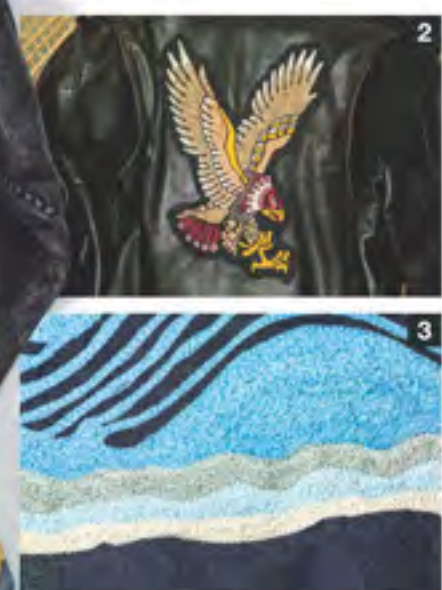


ベースとなるジャケットは、ヴィンテージで振り当てたものをリペアしている。オーセンティックなステッチの表情を出すため、リペア用には'70年代のミシンを、刺繍用には'70年代のミシンを使用!



ヴィンテージのGジャンがアートピースに早変わり!?

ベースはどれもシンプルな古着のGジャン。右: 有名リゾートの名を背中に刺繍。13万2000円
右下: あざやかなパームツリーが西海岸っぽい。18万6450円
左上: 波乗り好きにぴったりな背中にサーファー入り。18万6450円 (以上オールマイリレーションズ/Safari Lounge)
左下: 西海岸の自然を大胆かつ繊細に刺繍した1着。38万円 (オールマイリレーションズ/RHC ロンハーマン)



1: ブランドの顔となる技術、チャイニーズステッチ。まるで絵を描くように自在にラインを操る! 2: レザージャケットには刺繍を施したキャンバス地を縫い付ける 3: 渦を巻くような曲線的なラインは、デジタルミシンでは再現できない、ハンドメイドゆえの特徴

洋服の枠を超えたコレクターズ級の作品!

ヴィンテージからインスパイアされた柄やメッセージの刺繍が入ったジャンプシャツ。世界でこの1枚しかなく、他人と絶対かぶることはない。各12万5000円 (以上オールマイリレーションズ/RHC ロンハーマン)



刺繍はどれも完全一点モノ!

05 LA Made Brand
オールマイリレーションズ
海×刺繍が紡ぐ
新しいJKの形!
スタイル

「ヴェニスビーチとシンドニー」に拠点を置く、毎年行き来するほどのサーフィン好きであり、ミュージシャンとしての顔も持つ。そんなカイ・ブラウンが、「オールマイリレーションズ」を立ち上げるヒントを得たのは、裁縫上手な祖母が刺繍を施したジャケットだった。「行く先々で、それとどこで買ったの? と聞かれたよ」と語るカイ。自分でもカスタムしてみようと構想を膨らませるうちに、チャイニーズステッチ、という昔ながらの刺繍技術に出合い、手仕事の世界にのめりこんでいった。サーファー、アーティスト、ビジネスオーナー。ヴェニスビーチにはあらゆる感性が集まる。そのコミュニティがアイデアの源泉であり、ブランドの成長を支えているとか。またミシンは集中力を要し、カタダを酷使する。体調管理は欠かせない。自然、そして健康的な生活を根づく「LA」は、クリエイティブ環境という面でも最高!



1: 定番のジャージ素材のカットソーを縫製中
2、3: 布を重ねずに縫ぎ合わせるように縫うリパスステッチによって、クリーンなシルエットと極上の着心地を実現。布の重なりを切り取りながら縫っているのがわかる



1枚で着てもレイヤードでもキマるカットソー

デザイナーのジョンが、その丈と着心地のよさをこだわり抜いた「マーサー」。パーカやジャケットと重ね着するときに裾が出るよう長めにデザイン。各1万3000円 (以上ジョン エリオット/サザビーリーグ)

04 LA Made Brand
〈ジョン エリオット〉
自由な発想と環境が生んだ新時代の“クラフト”ウェア!

「いつか自分のブランドを持つことにはわかってた」。幼い頃からデザイナーになる道を突き進んできた新進気鋭のジョン・エリオットが、その野望を叶える舞台に選んだのがLAだった。LAの持つ高い技術と生産力、そして年中温暖な気候が生むカジュアルなストリートファッション。ジョンにとって、まさに住むにも働くにも最高の街だったという。意外にもジョンは服飾の専門的な勉強を積んできたわけではない。だからこそ生産者に直接アイデアをぶつけ、試行錯誤しながらビジョンを実現できる環境が必要だった。話題をさらった画期的なシルエットの誕生の裏には、そんな新世代ゆえの自由な発想があったのだ。ブランドの根本にあるのは「長く着られる定番」と語るジョン。西海岸は欧州に比べモノ作りの歴史が浅いからこそ、新しい考えや技術に対してオープンで、多くのイノベーションを生み出してきた。昔ながらの手仕事とは違うが、これも新しい。クラフトマンシップの表現といえる。

定番パーカ&スウェットもLA産!

右: インナーのチラ見せに便利なサイドジップ付きの定番パーカ。3万円 左: 裾が長くタイトなシルエットの“エスコバル”もLAメイド。2万9000円 (以上ジョン エリオット/サザビーリーグ)



上: 検品・タグ付けも手作業で行われる
左: こちらはデニムやジャケットを担当する部門。ローカルの人員をあえてフルタイムで採用。これによって様々な製法を習熟させることができ、生産ラインも流動的に調整可能!

倉庫を3か月かけて改装した工房。もともとのレンガ壁や木造の梁が、改装後のインテリアのアクセントとして残されている。また、改装後のインテリアは、オリジナルの雰囲気をよく引き出している。



1: 鋳型の原型となるワックス製のパーツ。わずかなサイズ調整が鍵となるので納得いくまで何度も作り直す。2: ワックスに特殊な粉をまぶして窯に入ると、表面だけが固まるワックスが溶け出し、鋳型が完成。3: 窯が置かれている作業場。



07 (グッドアートハリウッド) "アンジェリーノ"がDTLA発ジュエリー!

D TLAからほど近い住宅街。看板すらない隠れ家のような扉を抜けると、開放的な空間に鋳造所が広がる。セレブからの支持も厚いジュエリーブランド、(グッドアートハリウッド)が2年前、電気すら通ってない倉庫をDIYで改装して造った工房がそれだ。「商品は人の手に渡ってからその一生が始まる」。そう語るのにはオーナーのジョシュ・ワーナー。どんなに時間やコストがかかっても、妥協しないストイックな姿勢は、そんな信条に支えられている。美しさだけでなく、快適な着用感までを追求するためには、全工程を自分の目で厳しくチェックすべき。そう考えたジョシュは、それまで外注していた作業も自分たちでできるよう設備投資に踏み切った。「日々の生活に美学を添えるモノを提供したい」と語る彼にとって、ホームであり、生活を営むLAで生まれるアイデアこそがブランドの原点。物価や人件費が高騰し続けても、LAを出る選択はない。その手から生み出されるジュエリーには、真の職人魂を感じずにいられない!



細部まで手を抜かない職人魂が宿るジュエリー

シンプルながら骨太さを持つジュエリーはすべてDTLAメイド。右: ボールチェーン1万5000円、シャザム "AA" 3万2000円、シャザム "C" 7万5000円、シャビーペンキャップ4万6000円 左: デニムにこの"ベルトループパディ"を引っかけて垂らすだけで絵になる。1万5000円 (以上グッドアートハリウッド/ミック 恵比寿)

ペンキャップ

稲妻チャーム

キーリング



4: 思わず憧れる、カリフォルニアのロマンが詰まったジョシュのオフィス 5: 作業台はアイテムごとに必要な道具が揃えられている 6: 修理用としてよく使われるレーザーの溶接マシン。チェーンの繋ぎ目など微細なディテールを仕上げる 7: バックルの装着感も工程ごとに細かくチェック!



LAという街がブランドの原点!



ファイバーグラスチェア製造の中核となる建物の内部。(モダニカ)のファイバーグラス製品はすべてここで作られる。熟練職人がそれぞれのパートを担当し、真剣かつ陽気に"作品"を作り出している

06 (モダニカ) アメリカの歴史を受け継ぐシェルチェア



妥協を許さない本物志向のプロダクト

右: "アームシェルチェア・モス・ロッカーベース"。7万3000円 中: "サイドシェルチェア・インディゴ・エッフェルベース"。5万3000円 左: ウッドの種類を選べる"サイドシェルチェア・インディゴ・ドゥエルベース"。6万6000円 (以上モダニカ/センチュリアム) 下: [本当にいいものは、時代を経ても色褪せない]と話す兄のジェイ



F アイバーグラス製のシェルチェアは、今から60年以上も前に西海岸で生まれた。当時最新の素材と技術で作られたこの椅子は、現在までその型を大きく変えていない。だが、今もLAメイトを守る作り手は希少で、そのブランドのひとつが(モダニカ)。オーナーのノバック兄弟は、以前新しいデザインを模索し、数千もの試作品を作った。その結論が「これ以上なにかを足すことも、減らすこともできない完成品」ということだった。その後兄弟は、時代とともにバラバラになった素材と技術、そしてシェルチェアを生み出したゼニス社のオリジナルプレス機をDTLAに集結。試行錯誤の末に独自のシェルチェアを完成させた。職人の手で一脚ずつ丁寧に作られる(モダニカ)の椅子には、ファイバーグラス特有の個性的な模様、スノーフレイクが美しく浮かび上がる。弟のフランクはこう語る。「この椅子は時代を象徴するアイコンであり、アメリカの歴史の一部なんだ」



上: デザイナーズ家具ブランドが並ぶビバリー通り沿いにあるショールーム。全37色で展開する椅子とその脚を自由に組み合わせて、自分好みの1脚を作ることができる 上左: 工場には世界各国への輸出を待つシェルチェアが並ぶ



左の手入れ
着用は
コレ!

【マディソンブルーフォーロンハーマン】
MADISON BLUE FOR RON HERMAN

まるでランチコート!? 気分なボア付きシャツ

シャツの見た目をキープしたまま、裏地に薄手のボアを採用してランチコート風の着心地を演出。袖裏も暖かなコットンフランネル地で秋冬にぴったり。6万9000円(マディソンブルーフォーロンハーマン/ロンハーマン)



右: チェックシャツ2万8000円(ロンハーマン)、プルオーバーパーカ2万2000円(レイニング チャンプ フォーロンハーマン/ロンハーマン)、コーデロイパンツ3万2000円(ロンハーマン デニム/ロンハーマン) 左: オフホワイトニット6万5000円、ベージュチノパンツ2万6000円(以上ロンハーマン)、サングラス1万9000円(金子眼鏡 フォーロンハーマン/ロンハーマン)、その他はスタイリスト私物

老舗のホットドッグを 食べてローカル気分!?

LAでホットドッグといえば必ず名前が挙がるのが、1939年創業の老舗、(ピンクス)。この行列に並ぶのも、LAの日常であり、名物。裏地がボアで肉厚感のあるシャツを着て、定番のチーズドッグにかぶりつけば、男らしさ十分でローカルっぽく見えそう!?



メルローズアベニューにはやっぱり(ロンハーマン)が似合う!

お気に入りの街では 気取らない1着がいい!

LAカジュアルを着て、LAを歩く。『Safari』読者であれば、誰もがこの響きに憧れるはず。もう何度も現地を旅したという人も多いかもだけど、LAは本当に広く、やりたいこともいっぱい。そこで、今LAに行ったら絶対にハズせない“体験”をまとめてみた。まずは王道、メルローズアベニューまわりから。高感度なショップやカフェ、フォトジェニックな壁など、LAを象徴するものが凝縮したエリアには、やっぱり(ロンハーマン)が最高に似合う!

写真=仲山宏樹、正重智生 スタイル&文=Kim-Chang ヘア&メイク=林マキ コーディネーター=びりーえり 撮影協力=カレラ カフェ
photo: Hiroki Nakayama(BOIL), Tomoo Syoju(BOIL) styling&text: Kim-Chang hair&make-up: Maki Hayashi(Seven Bros.)
coordination: Eri Beverly(Team LA LLC) special thanks: Carrera cafe



新名所のカフェで こだわりの1杯を!

お洒落なコーヒースタンドやレストランが集まるこの通りで、“インスタ映え”カフェとして異彩を放っているのが、この(カレラ カフェ)。ヨーロピアンな内装だけでなく、コーヒーの味やこだわりのラテアートも評価が高い。そんな場所には、LAらしい色みでインパクト抜群なアーティスト風のニットガウンがちょうどいい。



モデル着用は
コレ!

【ロンハーマン】
RON HERMAN

LAの休日をゆる〜く 演出するロングカーデ!

ざっくり編みで、まるでサンセットのように色が混じり合うグラデーションカラーがLAらしいゆる〜い雰囲気を加速させる。ポケットにキーやニット帽などの小物を入れてダラリと着こなすのが気分。3万6000円(ロンハーマン)

インに着たロゴスウェットシャツ2万3000円、白ニットキャップ1万1000円(以上ロンハーマン)、プルオーバーパーカ2万2000円(ロンハーマン デニム/ロンハーマン)、デニムパンツのポケットにかけたサングラス1万9000円(金子眼鏡 フォーロンハーマン/ロンハーマン)



モデル着用はコレ!



【ロンハーマン】
RON HERMAN

最高級カシミアがアメカジの格を上げる!
ゆる〜く編まれたネルシャツをイメージしたチェックのシャツジャケット。穿くべきは、その素材がカシミア100%であること。着心地は柔らかく軽快で、肌触りも、彼女へのアプローチも極上です。20万円（ロンハーマン）

モデル着用はコレ!



COLOR VARIATION

【ハーマンフォー ロンハーマン】
HERMAN FOR RON HERMAN

美しい配色に息をのむ“超”肉厚カウチン!

カナダの（ハーマン）に別注したカウチンはインパクトのある編み柄と、あえての野暮ったさが特徴。リリ社のスライダーを採用するなどディテールにも抜かりなし。各9万2000円（以上ハーマンフォー ロンハーマン/ロンハーマン）

ホールフーズでヘルシー食材ゲット!

オーガニックフードが充実しているのもLAならではのカルチャー。目抜き通りのメルローズアベニューのまわりにももちろん、王道の〈ホールフーズ〉や〈エレホン〉など自然派スーパーがたくさん。エスニックなデザインが効いたざっくりカウチンをラフに羽織った、気取らないスタイルで出かけたい。



電動スクーター“バード”でお洒落ストリートを疾走!

メルローズアベニューは東西の全長がなんと約10kmに及ぶ。だからクルマ移動が常識だけど、面倒なのが駐車場の問題。そのせいか、現地で今大人気なのが電動スクーターで街を駆けるという移動方法だ。フワリと軽いシャツジャケットを風になびかせれば颯爽と見えるし、しかもカシミアなので高級感も十分。小僧のアメカジとも差別化できる。

ベージュニット8万4000円（ロンハーマン）、
キャメルコーデロイパンツ3万2000円（ロンハーマン デニム/ロンハーマン）、
サンダラス1万9000円（金子眼鏡 フォー ロンハーマン/ロンハーマン）、
デザートブーツ2万3000円（クラークス/クラークスジャパン）



コンチョ付き ウェット
ツ5万8000円（ロンハー
マン）、ブラックデニムパ
ンツ5万5000円（ロンハーマン デ
ニム/ロンハーマン）

LAの海を北～南まで全制覇!?

LAのビーチといたら、観光地でもあるサンタモニカやヴェニスが有名だが、実は南北に様々なビーチがある。王道ビーチでLA気分を満喫するのもし、ローカルなポイントで波乗りをしたり、ビアでまったり過ごすのも楽しい。(RHC&MAS)ならではのヴィンテージ風加工や“ヤレた”風合いのおかげで、どんな海でも自然に溶けこめる。



モデル着用はコレ!



LA気分がアがる襟ボアの白Gジャン!

表地は肉厚で力強い14ozのデニム。襟に濃色のボアをあしらいい、さらに裏地にもシャツ地のようなチェック柄を採用することでわりはさすが。ストーン洗いを長めにかけて、自然なユーズド感を作り出している。4万5000円 (RHC&MAS / RHC ロンハーマン)

モデル着用はコレ!



ヴィンテージを再現したトロトロの素材感が最高!

デザイナーのジョン・ムーア本人が長年愛用しているヴィンテージの先染めフランネルを忠実に再現。折り切れて別のフランネル地を当て布したディテールもクール。各2万6000円 (以上 RHC&MAS / RHC ロンハーマン)

大人サーファーなら西海岸の文化が息づく(RHC&MAS)で!

海を身近に感じる毎日だからビーチに似合うウェアを!

サーファーでもそうでなくても、カリフォルニアらしいリラックスムードを感じたいなら、迷わずビーチへ。もちろん、海には海に似合う大人カジュアルで出かけた。 (RHC&MAS)には、そんな海好き男たちにぴったりなベーシックだけど、ひとヒネリあるアメカジアイテムばかり。どの服を着て、どのビーチに行くか、考えるだけでも楽しい。

右: 刺繍入りパーカー3万5000円、白デニムパンツ3万3000円 (以上 RHC&MAS / RHC ロンハーマン)、手に持ったニット帽6000円、太バングル2万円、細バングル1万4000円 (以上 RHC / RHC ロンハーマン)、その他はスタイリスト私物 左: 中に着たグレーのオーバーパーカー2万4000円 (アウターノウン / RHC ロンハーマン)、グレーデニムパンツ2万6000円 (RHC / RHC ロンハーマン)、サングラス2万8000円 (ジュリアス タート オプティカルフォー RHC / RHC ロンハーマン)



オフ白Tシャツ7000円 (ポリマー / RHC ロンハーマン)、ブラックデニムパンツ2万8000円 (マインクス / RHC ロンハーマン)、サングラス3万8000円 (ジュリアス タート オプティカルフォー RHC / RHC ロンハーマン)

What is <RHC&MAS>!?

デザイナーはこの人!



ジョンのこだわりや感性が生きたブランド

(RHC&MAS)は(RHC ロンハーマン)の新たなコラボライン。(アウターノウン)のクリエイティブディレクターを務めるジョン・ムーアがデザインを担当。ジョンがプライベートで旅した場所や西海岸の景色をデザインに落としこみ、彼の感性を色濃く反映している。

ベージュコーデロイショート1万4000円、コーデロイキャップ7000円 (以上 RHC / RHC ロンハーマン)、肩にのせたチェックシャツ1万6000円 (アウターノウン / RHC ロンハーマン)、その他はスタイリスト私物



モデル着用はコレ!

スウェットにタイダイを施した“海”を感じる1枚

カラダに優しいオーガニックコットンのスウェットシャツを、天然染料を使ったナチュラルダイで染め上げた力作。右袖のさりげないエスニック風ハンドステッチがデザインのポイントに。3万円 (RHC&MAS / RHC ロンハーマン)





モデル着用は
コレ!

**チェスター型だから
ムートンなのにすっきり**

ムートンなのに野暮ったさは皆無。その秘密はなんといってもチェスターコート型のシルエットにある。良質なメリノの原皮をイタリアで縫製した軽くてあったかな1着はサーファーの強い味方。28万円 (RHC&MAS / RHC ロンハーマン)



刺繍入りシャンブレーシャツ12万5000円 (オールマイリレーションズ/RHC ロンハーマン)、ライトグレースウェットパンツ2万8000円 (マイシンクス/RHC ロンハーマン)、オフ白ニット帽6000円 (RHC / RHC ロンハーマン)、サングラス3万8000円 (ジュリアス タート オプティカル フォー RHC / RHC ロンハーマン)、その他はスタイリスト私物



モデル着用は
コレ!

**海上がりにゆるっと
穿きたい淡青デニム**

股下のガゼットが特徴的なサルエルシルエットのクロップドデニム。LAで縫製・加工を行い、ポケット口にハンド刺繍。裾にメキシカントリムテープのアクセントを取り入れたゆるさも魅力。6万8000円 (RHC&MAS / RHC ロンハーマン)



イエローニット3万4000円、手に持ったバーガンディニット帽8000円 (以上 RHC / RHC ロンハーマン)、インに着たオフ白Tシャツ7000円 (ポリマー/RHC ロンハーマン)、サングラス3万8000円 (ジュリアス タート オプティカル フォー RHC / RHC ロンハーマン)、肩にのせたチェックシャツ2万8000円 (マイシンクス/RHC ロンハーマン)、その他はスタイリスト私物



6 Things to do in LA

マリブやヴェニスで波乗りをする!

サイズの大小はあるが、コンスタントに波が立つのが西海岸ビーチの魅力。有名ビーチを渡り歩くサーフトリップは大人サーファーの憧れ。上品なサンドカラーの靴で出かければ、セレブが出没するマリブでも、いつも賑やかなヴェニスビーチでも、浮くことはないはず。



model 02 [タスマン] Tasman

モデル着用はコレ!

ノーストレスで脱ぎ履きできる大人顔スリッポン!

ぼつりりと丸みを帯びたフォルムが特徴のスリッポンタイプ。履き口のエッジに施した「タスマンブレイド」のディテールが絶妙なアクセントになっている。豊富に揃う右のカラバリは定番モデルの新品。サンドカラー2万円、カラバリ5色各1万7000円(以上アグ/デッカーズジャパン)



COLOR VARIATION

チェックシャツ7900円(ファイブブラザー/トップウインジャパン ショールーム)、Tシャツ3900円(カルベリース/トップウインジャパン ショールーム)、カットオフデニムパンツ2万8000円(アッパーハイツ/ゲストリスト)、サングラス3万3000円(モスコット/モスコット トウキョウ)、キャップ8000円(ザクワイエットライフ/ハンドイントゥーリー ショールーム)、その他はスタイリスト私物

足元はサンドベージュがLAサーファーの常識!

心地よい空気が漂うカリフォルニアの海。ここでは誰もがリラックスしたカジュアルで過ごしたいから、足元にもゆるさが必要。とはいえ、秋冬にいつもビーチサンではいただけない。そこで頼りになるのが、アグが各スタイル世界限定1978年で展開する40周年記念モデル。ブランド創立当初からあるサンドカラーをベースにした新作は、青い空やビーチ、そして海がシリアルと相性抜群! これを履くのがLAサーファーの常識!?

close-up!



モデル着用はコレ!

COLOR VARIATION

model 01 [クラシックミニ] Classic mini

海男の定番靴がサンドカラー&高機能で登場!

定番モデルの形はそのままに、ブルタブに「タスマンブレイド」を刺繍し「40-40-40」と記したレザースタンプの刻印でクラフトマンシップを表現したのが限定モデルの特徴。カラバリのモスグリーン、ブルエッチ、シールは、定番のクラシックミニの新品。各2万4000円(以上アグ/デッカーズジャパン)



カシミアカーディガン23万円(ジエルダー/ステイツマン/エドストローム オフィス)、生成りTシャツ3900円(カルベリース/トップウインジャパン ショールーム)、グレースウェットパンツ2万9000円(ジョン エリオット/サザビリーグ)、その他はスタイリスト私物

ヴェニスで波に乗り遅めのランチを!



いつも人で賑わうヴェニスビーチだから、波に乗るなら早朝がベスト。着心地のいい陽気な色パーカをさっと羽織ってビーチクルーザーで海へ。アフターサーフはアボットキーまで出て遅めのランチを。街では同じパーカでも、引き締まった黒のブルオーパーで。



グレー

疲れたカラダを包みこむ
柔らか〜な裏毛パーカ!

胸にヴェニスビーチのシンボルであるサーファーと波、パームツリーのロゴをプリント。軽く柔らか〜なタッチのパーカは、波乗り前後の時間を心地よい気分にくれる。カラーバリエーションも豊富。この5色にブラックを含めた6色展開。各¥5,500円(以上カルベリーズ/トップウィンジャパン ショールーム)

オートミール

モデル着用はコレ!

model 02 [フリーシー ヴェニス] FLEECY VENICE



白Tシャツ3900円(カルベリーズ/トップウィンジャパン ショールーム)、パープルコーデロイシューズ1万1000円(オーシャン パシフィック / ハンドイントゥーリー ショールーム)、ソックス1200円(カリフォルニアソックス/トップウィンジャパン ショールーム)、白ローカットスニーカー 4500円(ヴェニス/ヴェニスジャパン)、その他はスタイリスト私物



モデル着用はコレ!

close-up!

model 01 [フリーシー カリ] FLEECY CALI

ブラック

COLOR VARIATION

刺繍で立体感を出した
控えめロゴが大人っぽい

着こなしに“こなれ感”と流行を生む空調の編み地で仕上げたパーカ。胸に英字の“California”ロゴ入りで、レザーやGジャンのイン使いでも間違いない。上のカラーバリエーションは、ダークネイビー、パーガンディも含む6色展開。各9500円(以上カルベリーズ/トップウィンジャパン ショールーム)

白Tシャツ3900円(カルベリーズ/トップウィンジャパン ショールーム)、ライトグレーデニムパンツ1万2037円(パナナ・リパブリック)、メガネ2万7000円(モスコット/モスコットトウキョウ)、その他はスタイリスト私物



〈カルベリーズ〉なら波乗り後のチルタイムにぴったり!

海上がりに欲しい 着心地のいいロゴパーカ!

ストリートな横乗り系から筋肉自慢、はたまたアーティストまで、様々な人々を惹きつけているヴェニスビーチ。もちろんサーファーもいっぱい、海上がりには誰もが着心地抜群の服を着て、思い思いにチルアウト。とくれば、〈カルベリーズ〉のパーカ、それもプリントや刺繍でロゴの入った楽しい1着を選べば間違いなし!

9 Things to do in LA

夕方はビーチで美しいサンセットを見る!

昼のサンセット大通りとは違って舞台は海。西海岸のビーチならではの絶景サンセットを狙うのであれば、パーカも海スタイルへチェンジ。疲れたカラダを優しく包むユニークなワッフル地の1着で見た目も着心地もパーフェクト!

グレーパイルパンツ2万3000円 (シーグリーン/タトラス ジャパン)、インに着た白Tシャツ (2枚パック価格) 1万2000円 (ヴィルム/タトラス ジャパン)、薄色レンズサングラス3万3000円 (モスコット/モスコット トウキョウ)

COLOR VARIATION



大きなワッフル編みが男らしさを嫌みなく強調!

編み目を大きく際立たせた、通称「オニワッフルパーカ」。そのざっくりとしたワイルドな見た目と優しい肌触りがアフターサーフを男らしく演出してくれるはず。カラバリも豊富に揃い、海に似合うブルーは今季の新色。各2万円 (以上シーグリーン/タトラス ジャパン)



モデル着用はコレ!

西海岸の街にさりげなく溶けこむ(シーグリーン)の1着!

リラックスしたい休日は差がつく大人のパーカで!

リラックスして過ごしたいシーンで重宝するのがフーディ。でもアメカジの定番で誰もが使うアイテムゆえに、さらりと1枚でアウターとして着て個性を出すのは意外に難しい。デザインにひとくせある(シーグリーン)のパーカを海と街、それぞれのシーンで使い分けて、LAらしさが漂う大人な休日カジュアルを目指してみよう。

PATTERN VARIATION



モデル着用はコレ!

休日のご近所スタイルは毛足の長〜いフリースで

軽いうえ、極上の暖かさを約束してくれるポーラテック素材を採用。カジュアル感の強いワンマイルからサーフまで万能に使える。どちらも同色ナイロンの切り替えがアクセント。立ち襟フリースジャケット3万円、フリースジャケット3万2000円 (以上シーグリーン/タトラス ジャパン)

ネイビーカセット付きロングTシャツ1万3000円 (シーグリーン/タトラス ジャパン)、キングタス3万3000円 (モスコット/モスコット トウキョウ)

8 Things to do in LA

昼はサンセット通りで名物バーガーを食べ!

アメリカの国民食ともいわれるハンバーガー。日本にも数多くのアメリカ発チェーンが進出しているけど、頑なにローカル展開を守る店のひとつが(イン・アンド・アウト)。名物バーガーを頬張る姿も、落ち着いた濃紺のフリースパーカの効果が大人っぽく見える。



サンプルウェア：デウス エクス マキナ Tシャツ1万7000円、ブルーデニムパンツ1万5000円、首に巻いたハンダナ3000円（以上デウス エクス マキナ）、ジャック・オブ・オール・トレーズ プレスルーム。オカネ2万7000円（モスコット・モスコットトウキョウ）



10 Things to do in LA

〈デウス エクス マキナ〉のオープンテラスで仲間と作戦会議!?

ヴェニスに街に溶けこむ〈デウス エクス マキナ〉の店には、LA中からサーフィン&バイク好きな男たちが集まってくる。開放的なオープンテラスでひと息つきながら、次の目的地や愛車のカスタムについて深く話しこむのも楽しい。背中にブランドロゴや刺繍が入ったインパクト抜群なジャケットがあれば、後ろ姿で語ることもできる!



右：リバーシブルTシャツ1万円、黒デニムパンツ1万6000円（以上デウス エクス マキナ/ジャック・オブ・オール・トレーズ プレスルーム）、サングラス2万1000円（レイバン/ミラリ ジャパン） 左：プリントTシャツ6000円、白ワークパンツ1万3000円、キーリング2500円、机の上に置いたボルドーメッシュキャップ4000円（以上デウス エクス マキナ/ジャック・オブ・オール・トレーズ プレスルーム）

BACK STYLE



モデル着用はコレ!

後ろからも絵になるサーフ&バイクにぴったりなアウター!

A: 肉厚コットン素材のバリデックジャケット。襟まわりやライニングはボア仕様。ステンシル調の胸ロゴもクール。3万円 B: 味のあるコットン地に骨太さを感じるアドレスワークジャケット。大きめのバックプリントがバイカー好み。2万円 C、D、E: 直営店がある都市名を背中にプリントしたサンブリーチ コーチジャケット。各1万6000円 F: ソリッドな黒のベンチ コーチ。白抜きロゴパッチが正面、バックスタイルともに映える。薄めに入れた中綿のおかげで保温性も抜群。2万円（以上デウス エクス マキナ/ジャック・オブ・オール・トレーズ プレスルーム）

右のモデル着用はコレ!



海もバイクも大好きな大人だったら〈デウス エクス マキナ〉の1着で!

骨太のLAアメカジは後ろ姿で主張する!

波がいいときは海、そうでなければ愛車のバイクを飛ばしてツーリングへ。そんなワイルドなサーフバイカーが好むのは骨太なLAアメカジ。そう、前から見てかっこいいのは当たり前。後ろ姿でも男らしさを演出するのが彼らの流儀。バックシャンなジャケットが豊富に揃う〈デウス エクス マキナ〉でお気に入りの1着を見つけてほしい。



モデル着用はコレ!

バーシティJKはシンプルさが命!

ボディがウール混、袖は柔らかいレザー。バーシティJKといえばツートーンだったり、ワッペンが付いたりで小遣っぱいものが多いけど、これは違う。シンプルなデザインと清潔感のあるブラックヘザーで十分大人っぽい。3万7037円 (バナナ・リパブリック)



バナナ・リパブリックからNBA選手とコラボした新コレクションが登場! アクティブな男に必要なのはスポーツテイナフレージャー



ダウンタウンからステイプルズ・センターへ向かう!

LAスポーツの聖地ともいえる存在が、ダウンタウンの一角に立つステイプルズ・センター。ケビン・ラブとチームメイトだったレブロン・ジェームズが移籍してきて大注目のロサンゼルス・レイカーズの本拠地でもある。スポーツのアクセントの効いた大人アメカジなら、街を歩いていざスポーツ観戦へというシーンにぴったり。

バナナ・リパブリック 0120-77-1978



インに着た白Tシャツ3611円、ベージュチノパンツ9167円、肩にのせたチェックシャツ8241円 (以上バナナ・リパブリック)、サングラス2万3000円 (レイバン/ミラリジャパン)

モデル着用はコレ!

カレッジ風の胸ラインがスポーティ!

肌触り極上のクルーネックニット。その腕と胸を横断するように上品なホルダーのラインで配色を切り替え、ラグランスリーブもスポーティなニュアンスを添えてくれる。各1万1111円 (以上バナナ・リパブリック)



モデル着用はコレ!

ネップ調のカモフラなら都会的なアメカジになる!

ツルツとした表面だといかにもイタリアっぽく見えてしまうカモフラも、ご覧のとおりネップ調だとしっかり味があって男らしい。小襟のボタンダウンスタイルに、さすがサンフランシスコ発の洗練されたシティ感が漂う。1万2037円 (バナナ・リパブリック)



インに着た白Tシャツ3611円、サイドライン入りグレーパンツ1万185円、カモフラージュ柄クロスボディバッグ9167円、手に持ったグリーンコーデュロイキャップ5463円、ネイビースウェードスニーカー1万2963円 (以上バナナ・リパブリック)、サングラス2万1000円 (レイバン/ミラリジャパン)



上品だけど力強い
都会的なカラーの
短丈ネルシャツ!

こちらの“ルーク”は中肉厚
のフランネル素材。肌触りが
よく、しかも短丈だからシャ
ツと同系色の濃紺デニム合
わせでも重たくならない
のがいいところ。10月発売予
定。2万8000円(フランク&
アイリーン/サザビーリーグ)

モデル着用は
コレ!

Things to do
12
in
LA

ダウンタウンにある ショールームの屋上へ!

ダウンタウンの中でも、最も注目を集めるエリアのひとつが、
アールデコ調のビルが立ち並ぶ“ヒストリック コア”。
ファッション地区には個性的なショップや
ブランドのオフィスも多く、実は(フランク&アイリーン)の
ショールームもこのエリアにある。右ページのように、
骨太なシャツ姿でそのルーフトップから
都会のビル群を一望してみては!?

濃紺デニムパンツ3万円(シチズン
オブ・ヒューマニティ/シチズン
オブ・ヒューマニティ・ジャパン
ルドー MA-1フルゾン5万9000円
ン エリオット/サザビーリーグ)



定番のデニムもチェックも(フランク&アイリーン)ならひと味違う!

軽快だけど男らしいのが “DTLA”流のシャツ姿!

ダウンタウン・ロサンゼルス

海辺でのんびりチルアウトするときと繁華街の中心を歩くときでは、同じアイテムでも選びの基準が
異なってくるはず。たとえばシャツ。(フランク&アイリーン)といたら、LAらしい軽やかなタッチの
爽やかシャツというイメージだけど、DTLAを訪れる場合は、シャツスタイルをより男らしく都会的に!

モデル着用は
コレ!



袖や裾のシワ感が
ヴィンテージの風合いを生む

定番モデル“ルーク”のデニム地バージョンが
コレ。襟のエッジや前立てのプラケットは色
が抜け、ダメージが入っているのが特徴。裾
は一部切りっぱなしに加工しており、これ1枚
で“シャツデニム”姿が男らしく見える。3万円(フ
ランク&アイリーン/サザビーリーグ)

白Tシャツ1万円、ブルーダメージデニムパン
ツ4万8000円(以上ジョン・エリオット/サ
ザビーリーグ)、その他はスタイルリスト私物





インに着た白シャツ1万7000円、ネイビーパンツ2万2000円、クラブケースにかけた白キャップ8000円、白スライクレスシューズ2万4000円（以上キャロウェイ セレクト・キャロウェイアパレル）、手に持ったクラブケース実勢価格9500円（キャロウェイゴルフ）、クリアセルのサングラスはスタイリスト私物

Things to do
in
13
LA

カフェでブレイクしてから ゴルフの練習へ向かう!

休日の朝、カフェでコーヒーを飲みながら最新情報に目を通す。で、気分が盛り上がってきたら、いざラウンドまたは練習へ。こんな1日を過ごすのに、イチイチ着替えるのは面倒だから、ゴルフにもお洒落着としても使えるアウターがあると便利。ベストやシャカシャカのパーカでほどよくスポーティに。



モデル着用はコレ!

ゴルフ専用にはもったいない完成度!
ナイロンにポリウレタンを混紡した360度ストレッチ。秋口はこれ1着で、冬になったらジャケットやコートとのインとして重宝するシンプルなデザインが嬉しい。2万1000円（キャロウェイ セレクト・キャロウェイアパレル）

※実勢価格は編集部調べ

脱・ゴルフオヤジに魅せるなら やっぱりLAスタイル!

西海岸には多くのサーフポイントが点在するが、同様に優れたゴルフコースも数多い。サーフ&ターフな精神でゴルフを楽しむのもLAらしい。そんなときにいかにもゴルフオヤジな服装はNG。(キャロウェイ セレクト)なら普段着感覚でスポーティに着こなせるアウターが揃っているので、ゴルフもお洒落の腕も一流に見えそう!?



モデル着用はコレ!

**白フリース×白ナイロンの
レアな切り替えが絶妙!**

世の中にボアベストは数あれど、こんなオフ白×オフ白の組み合わせはまず見かけないはず。胸の縦ポケットやハンドウォーマー、ダブルジップなど機能面も極めて優秀。2万8000円（キャロウェイ セレクト・キャロウェイアパレル）

ライトグレーブルオーバーパーカ2万5000円、インに着た白ハイネックTシャツ1万4000円、白ニット帽1万1000円（以上キャロウェイ セレクト・キャロウェイアパレル）



ロデオドライブで ブランドハント!

一流ブランドが軒を連ねるLA屈指の高級ショッピング街、ロデオドライブ。ラグジュアリーなブティックに足を踏み入れるのであれば、足元を見られない格好が必要。とはいえ、そこはLA。過度に着飾りすぎるのも野暮。カジュアルシャツをシンプルに大人らしく着こなすのが好バランス。

ブルーデニムパンツ2万6000円、ジャケット2万9000円(以上テイラースティッチ/テイラースティッチ鎌倉ストア)、サングラス3万3000円(モスコット、モスコットトウキョウ)



繊細なストライプに
こだわりの感じる!

一見無地だが、実は複雑に入り組んだ細かなグレーのストライプが、軽微な柔らかなハリがあるのにカジュアル感はキープ。リネン55%コットン45%。1万5000円(テイラースティッチ/テイラースティッチ鎌倉ストア)

モデル着用は
コレ!



肉厚なのに柔らか。
ありそうでない
オンブレチェック!

薄手のオンブレチェックが多い中、これは肉厚で男らしい雰囲気。シンプルに1枚で着ても骨太感があり、オーガニックコットン100%だからタッチも優しげ。1万9000円(テイラースティッチ/テイラースティッチ鎌倉ストア)

1万9000円(テイラースティッチ/テイラースティッチ鎌倉ストア)、サングラス3万3000円、胸ポケットに入れたメガネ2万7000円(以上モスコット/モスコットトウキョウ)、白スニーカー4500円(ヴァンズ/ヴァンズジャパン)、その他はスタイリスト私物

西海岸発の「テイラースティッチ」ならこなれ感が段違い!
こだわりの詰まったシャツで
定番アメカジに差をつける!

ベーシックなアメカジにはいつの時代も色褪せない魅力がある。でもシンプルにシャツ1枚を着て、パンツが普通のチノやデニム合わせだと、もの足りなさを感じることも。そんなときはSFで誕生し、こだわりのシャツ作りに定評のある「テイラースティッチ」の出番。さすが西海岸発のこなれ感で、定番のシャツ姿が見違える!

モデル着用は
コレ!



遊び心たっぷりの〈ヴァンズ〉でさりげにお目立ち!

お洒落タウンでも目を引く パンチの効いたロゴ使い!

今のLAで最もクールかつ、クリエイティブな街と評されるのが、ダウンタウンの北西にあるシルバーレイク。お洒落タウンゆえに、全身無地の大人アメカジだとパンチが足りない!? こんなふうに遊び心たっぷりにロゴを効かせた服を着て歩けば、ヒップなエリアでひと際お目立ちできるかも。

Things to do in LA 15

シルバーレイクの 小粋なカフェを巡る!

ヒップな街、シルバーレイクの中心地がこの“サンセット・ジャンクション”。シカゴ発でLAを代表するサードウェイブカフェ、〈インテリジェンシア・コーヒー〉があり、そのまわりにも小さいけれどキラリと光る店がたくさん。後ろ姿や横からさりげなく主張するロゴものを着て、カフェ巡りの気分を盛り上げてみては!?

モデル着用は
コレ!



サーフ&スケートの 真骨頂といえよ!

ベースはスポーティなナイロンコーティングジャケット。その袖にチェッカー、背中にビッグロゴを入れ、インパクト抜群な見た目。コーヒーを飲む姿もサマになりそう!? 1万800円 (ヴァンズ/カリフォルニアデプト原宿店)



ロングTシャツ5500円 (ヴァンズ/カリフォルニアデプト原宿店)、スウェット3万3000円 (モスコット/モスコット/モスコット)



モデル着用は
コレ!

BACK
STYLE

これ以上のバックシャンは ほかを探しても見つからない!?

胸に小さな“VANS”ロゴ。背中には腕から続く“OFF THE WALL”のビッグロゴをあしらったダイナミックなスウェット。スポーツからデニムスタイルまで自由自在! 8000円 (ヴァンズ/カリフォルニアデプト原宿店)

裏リブパンツ7000円、キャップ3800円 (以上ヴァンズ/カリフォルニアデプト原宿店)